



鳥取県立鳥取盲学校

学校だより

第 6 号

校長 竹信 純一

平成 28 年 10 月 12 日

あいサポート祭で力一杯の演技披露！

10月1日、とりぎん文化会館で「あいサポート・アートとっとり祭」が盛大に開催されました。本校の児童生徒も日々の音楽の学習の成果を元気よく発表しました。今年度は特別非常勤講師として太田垣直也さんにご指導いただき、ラップビートを取り入れて友達紹介を行う内容を作り上げました。ラップというリズムのおもしろさや自分で歌詞を創作する楽しさ、友だちと一緒に1つのものを作り上げ発表するという連帯感等を高める活動となりました。作品が出来上がった後も、練習を重ねながら少しでも観覧者を巻き込んでラップの楽しさを味わってもらおうような工夫ができないかと話し合いました。その度に一人一人の動きや表現も自分たちで修正をして本番を迎えることになりました。本番を控えたりハーサル室では、とても緊張している子ども達を少しでもリラックスさせようと、太田垣さんが子ども達一人一人に声をかけて和やかな雰囲気に変えて



てください、最後には円陣を作って気持ちを一つにしました。

さあ、いよいよ本番スタート。MCの太田垣さんが観客に声をかけて、雰囲気が最高潮に達します。そして、メンバーを次々紹介して舞台に上げて、全員そろったところで演技が始まりました。保護者の皆さんも演技に大拍手。日ごろの成果をしっかりと出して、力一杯言葉と動作でアピールをすることができました。

また、二階の部屋では「マッサージ体験」が行われ、盲学校教職員があん摩や点字体験指導、日常生活の中で視覚障がい者に使用されているグッズ紹介などを行いました。大変な盛況で長い列ができていました。

「障がいを知り、共に生きる」をテーマとして開催された、このとっとり祭に、盲学校の子ども達による演技やあん摩奉仕活動等を通して多くの県民に、視覚障がいに対する理解や啓発を図ることができたように思います。今後もいろいろな機会を通して、盲学校のことを知っていただけるよう取り組んでいきます。



～外部人材を活用した学習～

盲学校では、様々な専門家を招いて授業を行っています。音楽では「ラップ作りの名人」、美術・図工では「廃材等を使ったジャンクアート」、体育では「ヒップホップダンス」、鳥の劇場団員さんには「体を使って表現しよう」など、いろいろな指導をしていただいています。外部の指導者に教わることで、新しい人との出会いやより専門的な指導により学習活動の幅が広がったり、日頃の姿とは異なる意欲的な面を見せてくれるメリットもあります。子ども達も初めての方との出会いには緊張しますが、次第に関係づくりが進むにつれて自分の内に秘めた面を出していきます。見てみると、意欲が高まり自分から積極的な行動をする姿が見られるようになりました。今後も書道や剣道



妹尾先生との出会い



児童生徒の作品



などの授業において特別非常勤講師を招聘する予定です。



身体表現活動



ラップづくり

心のバリアフリー事業

～青翔開智中学校との交流始まる～

昨年度に引き続いて、9月23日から6回シリーズで交流を始めました。今年は主に「ゴールボール」に加えて、「フロアバレー」も行う予定にしています。第1回目は青翔開智中学生の皆さんに、「視覚障がい」ということを理解していただくために校舎内の見学や疑似体験（アイマスク着用歩行やシミュレーションレンズ体験）をしていただきました。

次回からは、中学校で交流を行い、12月にはゴールボールの工藤力也選手を招きます。スポーツ指導だけでなく、彼の生き方についても話を聞き、考える機会としたいと考えています。

文化祭の案内

日時 10月29日（土）9：15～14：20

内容 弁論・部科ステージ発表・招待演奏
STT体験コーナー・展示コーナー
事業所販売コーナーなど

10月行事予定

- 1日（土）あいサポートとっとり祭
ボランティア講座
- 3日（月）県教委計画訪問
- 4日（火）病院見学（専 年）
- 5日（水）～7日現場実習（普）
- 7日（金）スポーツ交流（中）
- 11日（火）振替休業日
- 12日（水）鳥盲ボランティア
- 13日（木）中間考査、
- 14日（金）中間考査、スポーツ交流（中）
ボランティア講座
- 15日（土）ボランティア講座
- 17日（月）～18日（火）介護等体験
- 17日（月）部活動 点字・PC教室
- 18日（火）眼科検診
- 19日（水）模擬試験（専3年）職員会議
- 20日（木）模擬試験、初任者研修会場
- 21日（金）スポーツ交流（中）
グループ研究
- 25日（火）あん摩奉仕
- 27日（木）歯・口腔健康診断
- 29日（土）文化祭

皆さん、お待ちしております！